

港区いきいき支援センターが開催した
「事例検討会」に、推進会議の事務局が参加しました。

地域ケア会議の重要な役割である「個別ケースの検討」について、介護専門職の要であるケアマネジャーにその手法を学んでいただくため、港区介護保険事業者連絡会 居宅部会が中心となって、ケアマネジャー研修会において、事例検討会を実施しました。

港区地域包括ケア推進会議の事務局も、29年度の取り組みの参考とするため、検討会に参加させていただきました。

【日時】 1月17日（火）

【場所】 港区在宅サービスセンター 研修室

事例検討会の概要

①事例検討の進め方の説明

②事例提供者による事例概要の説明

ケアマネジャーを代表してお一人の方に、実際に担当している事例を提供していただき、対象者のADLや生活状況、家族状況などの基礎情報を説明していただきました。対象者の情報はホワイトボードに分かりやすく記載されており、参加者が全員、前を向いて話を聞けるよう工夫がされていました。

③事例に対する質問

事例提供者の説明と基礎情報を見て、さらに気になる点や、基礎情報から分からない点について、参加者から質問をしていただき、事例についてより深く理解をしていただきました。

④グループワーク

6グループに分かれ、事例から「検討すべき課題」の洗い出しを行った後、優先して取り組むべき「検討課題の決定」を行いました。その後、検討課題に対する対応策について議論をしていただきました。

⑤グループ発表

各グループから、事例から抽出した「検討すべき課題」とその対応策について発表をしていただきました。たくさんの方が議論することによって、様々な視点からの課題の抽出と、それに対する対応策を導くことができました。

今後に向けて

港区地域包括ケア推進会議においても、地域ケア会議（個別ケース検討会議）の充実、港区の地域課題を把握するため、優先して取り組むべき課題であると考えております。

29年度以降、地域での個別ケース検討と地域課題の把握がより推進できるよう、多職種連携や事例検討会等の実施について検討を進めていく予定です。

